

1/16(日) まいじ、倫理号です。今日は日曜日です。昨日は早く出て来ませんでした。申し訳ありませんでした。スタートリズムが1日ズレました。気を配りましょう

今週の

倫理

今週も元氣な朝。

喜山敏雄の「アホ」

2022. 1. 15~1. 21

1月のテーマ | あざやかなスタートを切る

1264号

「朝、目が覚めたら布団を畳み、まず洗面。着替えを済ませ、独自の体操で体を解して部屋の中を軽く清掃した後、朝食。その日のスケジュールの確認を行なって出勤」。これは経営者Tさんの朝の一幕です。決まり切ったこの一連の行動は、Tさんが長年の生活の中で築いた「型」のようなものですが、この「型にはまる」と、不思議と一日の仕事が順調に進みます。

しかし、どこかが欠けたり、手順が違ったりすると、リズムが狂い、イライラして仕事が捗らなくなってしまうのです。

Tさんの朝の日課が崩れるのは、大概、朝、決めた時間に起きられなかった時でした。その為、一日のスタートである朝の目覚め、朝の時間の過ごし方の重要性を痛い程理解しているのですが、人間ですから、時に失敗することもあります。

しかし、朝起きは一度きりでやり直しがききません。Tさんは、一日中、朝のルーティンが果たせなかったこと、朝起きに失敗したことを悔やみ、その思いを引きずって一日を過ごしていたのです。

そんな時、ある経営者の勉強会で、スタートで躓いた時、失敗した時の心のもち方、身の処し方についての話を聞きました。Tさんの心を捉えたのはその勉強会で使用されているテキストの次の一節でした。

又最初失敗すること、これは尊い月謝である。喜んで又改めてとりかかると、いつか大きい成功の栄冠がかがやく。(丸山敏雄『万人幸福の業』第十二条)



## スタートのリズムを取り戻すために

失敗の原因を反省・研究することで学びを得ることができるから、失敗が「尊い月謝」となること、充分な反省をしたら素早く気持ちを切り替えて、喜び勇んで出直す事が大切だという話を聞きました。

Tさんは、失敗したことをいつまでも引き摺ってイライラし、その感情をまき散らしていたことを反省すると共に、自分に足りなかったものが、失敗から学ぶことと、心の切り替えであることに気づきました。

その後、朝のルーティンを大切にしつつも、仮にそれが果たせなかった時は、「喜んで又改めてとりかかる」場を、出勤後の清掃と朝礼に決めました。デスクの掃除を念入りに行ない、朝礼で気持ちを切り替えるようにしたのです。簡単なことですが、この仕切り直しの時と場、そして所作を定めたことで、いつものペースを取り戻すことができるようになったといえます。

初めから、やり直しをするつもりでスタートを軽んじることは本末転倒です。しかし、いつも万全の状態の仕事を始められるとは限りません。不慮の事故等、自分ではどうにもならないこともあるでしょう。

たとえ出端を挫かれた時でも、心を切り替える自分なりの手立てを持っておくと、いち早く調子を取り戻し、生活と仕事のリズムを維持することができます。

何事も万全の体制を整え、出足鋭くスタートすることを目指しつつ、不調に陥った時でも素早い回復が果たせるような、強靱な職場人でありたいものです。